

標 題 : Fat mass- and obesity-associated genotype, dietary intakes and anthropometric measures in European adults: the Food 4Me study
ヨーロッパの成人における体脂肪および肥満関連の遺伝子型、
食事摂取および身体測定値 : 食品4Me研究

著 者 : K. M. Livingstone, et al. (英国 ニューキャッスル大学
細胞医療研究所 ヒト栄養研究センター)

掲 載 誌 : Br. J. Nutr. 115(3): 440-448 (2016)

要 旨 :

体脂肪および肥満関連(FTO)の遺伝子変異と食事との間の相互作用は、肥満の進行に関与する。

今回の解析の目的は、FTO 遺伝子型、食事摂取と身体計測値との間の関連をヨーロッパの成人で調査することであった。

「食品4Me」ランダム化対照比較試験の参加者を、FTO 遺伝子型(rs9939609)で遺伝子型分けし、食事摂取および食食品質スコア(健康的食事指数およびMD-PREDIMEDに基づく地中海食事スコア)を食品頻度アンケート(FFQ)から推計した。

FTO 遺伝子型、食事と身体計測(体重、ウエスト周囲(WC)およびBMI)との間の関連を、開始時に評価した。

FTO リスク遺伝子型のヨーロッパの成人はリスク対立遺伝子のない人々よりも大きなWC(AA v. TT: +1.4cm; P=0.003)およびBMI(+0.9kg/m²; P=0.001)であった。

フライ食品の摂取が最低でFTO リスク異形が2本ある被験者は、リスク対立遺伝子がなくフライ食品の摂取が最低の人々と比較して、平均で1.4kg/m²大きなBMI(P動向=0.028)および3.1cm大きなWCであった(P動向=0.045)。

しかし、BMIおよびWCに関してFTO 遺伝子型と食事摂取との間に相互作用の証拠はなかったため、これらの研究結果を確認または反証するために、さらに研究が必要である。

キーワード : BMI、食事摂取、EI:総エネルギー摂取、FTO:体脂肪および肥満関連の遺伝子、体脂肪および肥満関連の遺伝子、フライ食品、MD-PREDIMEDに基づく地中海食事スコア、PA:身体活動、RCT:ランダム化対照比較試験、WC:ウエスト周囲
